

東京東江戸川ロータリークラブ

国際ロータリー第2580地区 TOKYO HIGASHI-EDOGAWA ROTARY CLUB

インスピレーションになろう
BE THE INSPIRATION



インスピレーションになろう

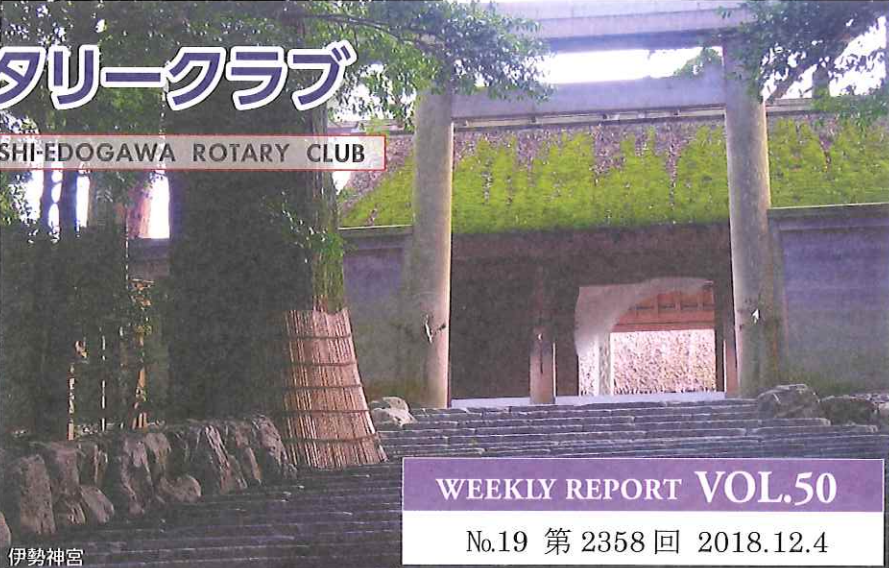
RI会長 バリー・ラシン

「笑顔こそ奉仕の原点」
輝こう★誇りをもって!

Rotary



クラブ会長 岡村 利之



伊勢神宮

WEEKLY REPORT VOL.50

No.19 第 2358 回 2018.12.4

- ◆ 例会日 ◆ 毎週火曜日 12:30~13:30
- ◆ 例会場 ◆ タワーホール船堀 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 TEL 03(5676)5511
- ◆ 創立 ◆ 1969年9月18日(日本で951番目)

本日の卓話

平成30年12月4日
「クラブ年次総会」

次回の卓話

平成30年12月11日
「東京東江戸川ヒストリア」
メンバー・第40代会長
阿部 昇 君

《 11月20日例会報告 》

- 点 鐘
ロータリーソング「日も風も星も」「四つのテスト」
来賓紹介
◎ゲスト 4名
ウリキ, ケイレブ ジョセフ君 (米山奨学生)
本澤淳司氏 (愛国学園 IAC 顧問教師)
西岡百々菜さん (愛国学園 IAC)
坂井枝美瑠さん (愛国学園 IAC)
◎ビジター 1名
田島 泰氏 (東京江戸川中央 RC)

以上 5 名



出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
31 名	25 名	89.29%	100%

会長報告

○第9回米山功労者感謝状授与…鈴木義雄君



○2019 学年度ロータリー米山記念奨学生選考面接
官委嘱状授与…嶋村君、一桝君、安池君



○東京米山友愛 RC よりバナーを頂戴いたしました。

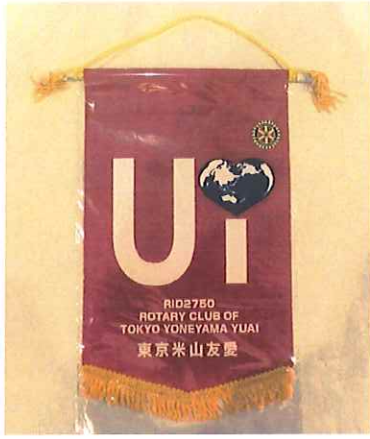
会 長 ◆ 岡村 利之
副会長 ◆ 一桝 靖人
幹 事 ◆ 猪野 弘行

会報・雑誌委員会 ◆ 唐澤 正樹・石橋 正男・田中 保夫

事 務 局 ◆ 〒133-0056 江戸川区南小岩6-31-8 福島ビル 2F AのB室

TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774

E-mail: e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com



幹事報告

- 本日、AM11:40～タワーホール船堀2階「蓬莱の間 前室」にて、50周年・記録委員会を開催いたしました。
 - 本日例会に引き続き、第4回クラブフォーラム(国際奉仕)開催。
 - 本日PM6:30～一之江「しゃぶテキ亭」にて、50周年記念実行委員会お疲れ様会開催。
 - 11月29日(木)PM2:00～東武ホテルレバント東京にて、東分区 鈴木ガバナー補佐担当クラブ「社会奉仕委員長会議」開催。岡村会長出席。
 - 12月1日(土)PM4:30～神戸ポートピアホテルにて、RI第2680地区RYLA学友会 国際ロータリー ロータリー学友ネットワーク加盟認証状伝達式開催。嶋村地区RYLA委員長出席。
 - 12月1日(土)PM6:30～シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルにて、東京江戸川中央RCクリスマス家族会開催。岡村会長、一桝副会長、猪野幹事出席。
 - 12月3日(月)PM5:00～京王プラザホテルにて、(在京)地区拡大増強セミナー開催。岡村会長出席。
 - 地区ローターアクトより、第2回会長幹事会のご案内がまいりました。今回はインターアクトクラブと合同で開催され、交流を深めると共に運営がより発展出来る様なグループワークが企画されております。
- 日時：12月15日(土)PM2:00～
 会場：関東第一高等学校 登録料：2,000円
 服装：セミフォーマル
 詳細及び参加ご希望の方は12月6日までに事務局へお申し出下さい。
- また、同日PM7:00～地区ローターアクト主催「Piece Party」も企画されております。
- 日時：12月15日(土)PM7:00～9:00
 場所：Restraint Alice 東京日本橋店
 登録料：4,000円 こちらは本日中に事務局まで詳細及びお申込みをお願い致します。

例会臨時変更のお知らせ

- 12月6日(木)
 - ・東京江戸川中央RC
 - 12/1(土)夜間移動例会「クリスマス家族会」
- 12月10日(月)
 - ・東京城東RC
 - 12/8(土)夜間移動例会(親睦家族会)
- 12月11日(火)
 - ・東京葛飾中央RC
 - 夜間移動例会(クリスマス家族会)

委員会報告

- <職業奉仕委員会>
 - ・12/11(火)職業奉仕勉強会の件。
- <国際奉仕委員会>
 - ・本日のフォーラムの件。
- <インターアクト委員会>
 - ・本日のインターアクト例会のご連絡。



《卓話》

11月27日の卓話は、「第4回クラブフォーラム(国際奉仕)」でした。



BOX

本日入金…¥	25,000
今期累計…¥	311,000
基金合計…¥	253,755

ニコニコ情報

①本日の卓話は

「第4回クラブフォーラム(国際奉仕)」です。
皆様の活発なご意見をお願いします。

小佐田君、鈴木君、猪野君、平田君、岡村君、田中君、
安池君…①

嶋村君…3週間ぶりの例会出席です。沢山のロータリー
リーモメントがありました。明日から沖
縄で頑張ってきます。

城戸君…寺田さんご結婚おめでとう。美しい花嫁も
大事ですが、ロータリー活動も頑張らしまし
ょう。

橋本君…本日のフォーラムよろしくお願ひ致します。
計10名

創立50周年記念事業 ミャンマー小学校建設プロジェクト 開校式参加報告③

日時：平成30年10月19日(金)～21日(日)

場所：ミャンマー ウェーティー村

参加者：一桵、唐澤・ご長男、嶋村、橋本、安池
(50音順・敬称略)

<ビジター>

原町中央 RC：佐々木ご夫妻、松永様

石垣 RC：大濱様、大浜様、仁開様、前木様

一般：岩堀様、木村様、中島様、西村様、山中様

計18名

< 2日目 -開校式- つづき >

そして、現地の子供たちによるミュージカルのような歌と踊りで歓迎された後、フォーエバーボラン
ティアグループのアウンさんから今回の学校建設の
経緯を子供たちに説明していただき、一桵副会長が
クラブを代表して挨拶を行いました。「この大きくな
った校舎でいっぱい勉強して、将来この国で活躍し
てほしい。そして、大人になったらいつか日本に遊
びに来てください。」と笑顔で語りかけ、そのメッセ
ージが子供達にもしっかり伝わったようでした。



その後、文房具を寄付してくれた日本の8歳の女
の子からミャンマーの子供たちへの手紙を読んでプ
レゼントし、もう一つのメインイベントである、唐
澤さんのご息による空手の型の披露が始まりました。
今回は、しっかりと道着も持参し、本格的なパ
フォーマンスとなりました。実は始まる前に裏で緊
張のあまり泣いていたことを知っている人は少ない
ですが、構えると人が変わったように勇ましく格好
良い姿に、現地の子供たちは心を奪われておりました。
前回よりもキレがあり、彼の成長も感じるこ
とができた瞬間でした。さらに空手の突きを現地の子
供たちと一緒にやることで、会場は一段と盛り上
がりクライマックスを迎えます。全員で記念撮影をし、
日本から持ってきたカバンいっぱいのお菓子をプレ
ゼントしお別れの時間です。





前回2月に私たちは1校目を建設しましたが、実はその建設を決めるにあたり、2つの小学校の候補を視察して決めました。どちらの学校からも猛烈なアピールを受け、固い握手を交わして別れましたが、どちらか1校に決めなければなりません。悩んだ末、ティーチャー村に建設を決めたそうです。そして、その時落選してしまったのが、今回建設したウェーティー村の小学校だったのです。当時は50周年記念事業としての建設が決まっていなかったため、苦渋の決断をした当時会長の城戸さんと、幹事の嶋村さんは、とても苦しい思いをしたそうです。それから約1年、50周年記念事業でウェーティー村の建設が決まり、私たちとはまた違った思いでこの開校式に参加された嶋村さんは、校長先生との約束が無事に果たされたことに涙し、最後に改めて固い握手を交わしておりました。その姿に私たちも目頭が熱くなりました。



2時間ほどの滞在でしたが、あっという間に時間が過ぎ、来た道を5時間かけて帰るのですが、エアコンもない暑い学校で汗ビッシヨリになった私たちは、帰りのバスでは誰もが疲れよりも達成感に満ち溢れた誇らしげな表情だったことは書くまでもありません。

ヤンゴンに戻ると、前回もお世話になったタイ料理レストランで夕食会です。まずは、このミャンマープロジェクトで一番お世話になったフォーエバー

ボランティアグループの方々に、お土産と各クラブのバナーを渡して感謝の気持ちを伝えます。そして、石垣RCの仁開さんの発声で乾杯し、美味しく食事をいただきました。最後は、キンさんとアウンさんから改めて今回の経緯とグループの活動への想いを話していただき、橋本国際奉仕委員長による3本締めでお開きとなりました。



私は今回で2度目のミャンマーとなりますが、急速に経済が成長して発展してきているとはいえ、一歩都心から離れると、まだまだ貧困や差別、衛生や教育の問題が山積みなのだ改めて実感しました。私たちの活動は小さな一歩かもしれませんが、今回、クラブ外からも多くの方が参加され、新たな奉仕の輪が広がりました。私たちが建設した小学校から、次世代を担う人材が育ってくれることを期待して、これからも支援を続けていきたいと思えます。

また、今期米山奨学委員長の私としては、現地で活躍してくれた米山学友についても触れたいと思います。日本で米山奨学生として留学していた彼らは、母国に戻り様々な分野で活躍していました。日系企業で働いたり、日本の企業に現地の人材を紹介したりと、日本で学んだ知識や経験を活かし、母国の発展や日本企業の支援のために活躍していました。また、今回のツアーのアテンドだけでなく、私たちと一緒に奉仕活動にも参加し一緒に汗を流す姿を見て、奨学会や日本のロータリアンの想いが、彼らにもしっかりと伝わっているのだなと実感できました。普段は学友会との接点も少ないので、彼らが卒業後、どのように活躍しているのかなかなか伝わりませんが、今回、このような形で交流を持てたことは、私自身、奨学事業の成果を実感できる良い機会となりました。

最後に、今回のミャンマーツアーにあたり、皆さまからご厚志をいただきましてありがとうございます。とても有意義で成果の高い奉仕活動ができたと感じております。 (記: 安池 勇人)